









MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

Vol.19 2013.3

-  あいさつ 1ページ
-  トピックス 2ページ
-  大学の動き 3～6ページ
-  学生生活 7ページ
-  学生支援事業 8ページ
-  卒業生訪問 9～10ページ
-  お知らせ 11ページ
-  クラブ・サークル活動紹介 12～14ページ

トピックス

**三重県立こころの医療センターとの
連携協力に関する協定を締結**

2ページ

第3回公開講座

2ページ

新シリーズ

卒業生訪問

9～10ページ



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

あいさつ

理事長〔学長〕 あいさつ

村本 淳子



平成25年は評価の年！

平成24年度は本学が開学15周年を迎えた年でした。記念事業として『三重の看護史』の編纂・発行、大学附属「看護博物館」の開館、そして記念シンポジウム（テーマ：三重の看護教育のこれまでとこれから）などを行いました。これらの事業をとおして感じたことは、本学が三重の地に看護大学としてしっかりとそして確実に根づいたのを実感できたことでした。うれしいですね。

その間、大学は平成21年4月には独立行政法人化し、はや4年が過ぎようとしています。本学のホームページ上に公表されている6年間の中期目標、中期計画にそって教職員一丸となつてつねに前向きに実践し、教育・研究・地域貢献活動、大学経営・運営などの側面から毎年、自己点検・自己評価を行い、

それを評価委員会に評価していただいています。おかげ様で高い評価を受けることができ、安堵感とともにうれしさを感じます。平成25年度は中間評価の年となり、4年間の総括評価をうけることとなります。また平成25年度は大学基準協会の大学評価も受審する年にあたり、そのための書類の準備を始めています。本学の教育・研究内容が大学として適正かどうかこれから1年くらいの時間をかけて審査されます。

平成25年は本学にとってまさに評価漬けの年になりそうです。学生は試験によって学習の評価を受けるわけですが、私たち教職員も日々の教育・研究、地域貢献、経営状況について評価を受けます。評価は緊張を伴いますが、評価によって次への大きな一歩も踏み出せます。進歩が望めることは、素晴らしいことです。

今後とも皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

後援会会長あいさつ

市川 稔



この時期、よくマスコミ等が全国の大学情報を報道していますが、その度、私は良い気分になります。それは本学の成績（各資格の合格率や就職率）が全国でも突出して優秀であるからです。これは、本学学生の

質の良さやその努力の成果であることは勿論なが

ら、そこには当然、大学の先生方の粉骨砕身のご努力があるからです。私たち本学の後援会は、今後もこうした本学の「良い立ち位置」を継続していけるよう側面的支援をしていきたいと考えています。本年も引き続き、本学に関係されます皆様方には本学後援会が実施いたしております各種事業に対し、格別のご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

安否確認システムを導入

平成24年4月に（株）ミエデンシステムソリューションの提供する安否確認システム「Anpi24」を導入しました。災害発生時、学生や教職員の携帯端末に安否登録を促すメールが送信され、受信者が安否状況を登録することで本学が安否を確認するものです。

本システムはこのような一般的な安否確認機能に加え、保護者の皆様のアドレスをあらかじめ登録することで安否状況を通知する機能も備えています。東日本大震災では多くの大学が安否確認に時間と労力をかけましたが、本システム導入により迅速な安否の確認と安心の提供ができるものと期待しています。



トピックス

三重県立こころの医療センターとの連携協力に関する協定を締結

平成25年2月22日、本学と三重県立こころの医療センターとは、臨床能力に優れた質の高い看護職者の教育・育成について連携協力を図るために協定を締結しました。

本学と県立こころの医療センターとは、これまでも学生の臨地実習の受け入れや、授業への講師派遣など、相互に連携・協力を行ってきたところですが、お互いの強みを生かし、より密接かつ効果的な連携・協力関係を構築することで、臨床能力に優れた質の高い看護職者の教育・育成を目指していくこととして、今般の協定締結に至ったものです。



協定では、従来の取組に加え、県立こころの医療センター職員の教育・研修の場への本学教員の派遣による支援や、教員の臨床能力の向上を図るための県立こころの医療センターへの研修派遣、各種セミナー・シンポジウムの共催や共同研究の推進など、新たな取組も行っていくこととしています。



三重県立こころの医療センター

県立こころの医療センターは、精神科医療の分野において全国的にも高い評価を受けている医療機関であり、今回の協定締結を機に、本学の精神看護学領域における教育・研究が一層向上することが期待されます。

第3回三重県立看護大学公開講座

9月21日、本学講堂において第3回公開講座を開催しました。「きれい社会の落とし穴～アトピーからガンまで～」をテーマに、藤田紘一郎さん（東京医科歯科大学名誉教授）が講演されました。

アトピー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症などのIg抗体が関与するアレルギー性疾患群が、我が国において最近異常に増えています。なぜ、昔なかったアレルギー性疾患群が今現代病になったかについて話されました。研究により、寄生虫や細菌、ウイルスなどの微生物がヒトのアレルギー反応を抑えていることがわかってきました。つまり、私たちの周りにはある寄生虫や皮膚常在菌、腸内細菌などの「共生菌」が私たちを守っているということです。しかし、日本人の清潔志向の行き過ぎで、回虫はもちろん、身の回りの「共生菌」まで排除している状況が日本国内で見られるようになりました。このような日本人の「超清潔志向」が日本人のアレルギー性疾患群という現象を起こしてきたことにふれ、日本人のきれい好きの功罪について、話されました。

当日は、260人の入場があり、会場に訪れた市民からの質問が飛び交い、大盛況のうちに講演を終えました。また、この様子はテレビ会議システムを使用して、伊賀市立上野総合市民病院と三重県立志摩病院にも配信されました。



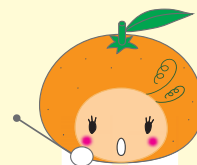
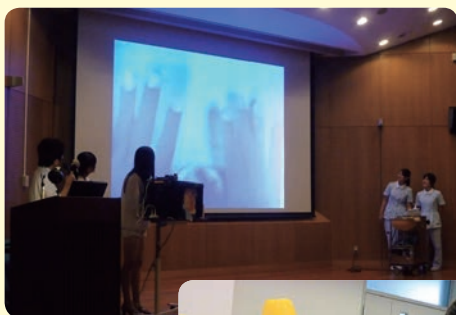


大学の動き

オープンキャンパス

恒例の「みかんだいオープンキャンパス」が7月28日に開催されました。今回も県内外から、高校生の皆様、保護者の皆様合わせて600名近くの方にご参加いただき大盛況の内に終えることができました。

今回は、模擬授業の中で高校生の方が実際に正しい手洗い方法を体験したり、国公立大学で初めての取り組みである「インターネット出願」の体験ブースを設けたりと、今までよりも魅力ある内容であったと思います。参加者の方々は、大学紹介や入試説明はもとより、実際に沐浴を行ったり車いすに乗ったりと様々な体験を楽しんでいただくことができました。また、90名近い在学生の応援を得ることができ、参加者の皆様からは、在学生の真摯な対応に高評価をいただきました。



三重県内病院等施設看護管理者の方々との意見交換会

本学では、例年、看護・介護の第一線でご活躍されています看護管理者の方々をお招きして本学の看護教育等の取り組みの説明と意見交換を行っています。

平成24年度は9月25日に県内30施設の看護管理者の方々に参加いただき開催しました。当日は学長より「最近の看護動向について」の説明があり、地域交流センター事業、大学院、認定看護師教育課程



「感染管理」などについて、担当者からご案内いたしました。意見交換の中では、本学でのキャリアデザインの取り組みと病院での継続した教育の必要性や認定看護師教育課程など地域貢献事業の取り組み等について、様々なご意見をいただき、本学の今後の方向性を考える上で有意義な意見交換会となりました。



教 育 懇 談 会



9月8日に教育懇談会を開催しました。昨年度を上回る100組以上の保護者の方にご参加いただき、年々お子様の学生生活や本学の教育に対し、関心を高めていらっしゃる事が伺われました。参加者の皆様からは、「直接教員から子どもの様子を聞いたり、成績や就職についての相談ができたりして、安心した」という声をいただきました。そして、多くの保護者の方が教育懇談会の継続を希望しており、今後も内容の充実に努めてまいります。



サポーター制度について

サポーター制度は本学の教育、研究、地域貢献、学生募集、広報、運営などについて支援していただくことを目的として平成24年2月にスタートし、1年が経過しました。現在9名のサポーターの方々によって、県内各地域において本学に関する情報の発信や地域からの有用な情報収集をしています。また、年1～2回開催されるサポーター会議では、活動報告をはじめ、本学に対する提言、意見交換などを行い、地域からの本学に対するニーズの把握に努めています。



平成24年度第1回サポーター会議

認定看護師教育課程「感染管理」 平成25年度研修生募集

認定看護師教育課程「感染管理」では、開講2年目で60名の修了生が誕生し、三重県では開講前に比べて感染管理認定看護師を2倍に増やすことができました。平成25年度の入試は2回あり、5月募集の出願にはまだ間に合います。母校で再び学んでみませんか？

開講期間：平成25年7月～平成26年2月

出願期間：平成25年5月1日～5月31日必着(5月募集)

入学試験日：平成25年6月8日

選抜方法：筆記試験(感染管理領域における専門基礎知識、小論文)、面接試験



感染管理看護研究会にて



グループワークの様子

入試対策のための個別面談もできますので、お気軽にご連絡ください。

連絡先：三重県立看護大学地域交流センター

認定看護師教育課程事務局

TEL:059-233-5626 e-mail: kansen@mcn.ac.jp



大学の動き

地域交流センター事業案内

三重県立看護大学地域交流センターは、本学の教育・研究の成果を地域社会に還元するとともに、地域社会の様々な方々との連携・協働・共同および交流をとおして、県民の皆さまの身近な存在として地域づくりに貢献してきました。

平成24年度は、35件の事業に取り組みました。そのうち、地域での公開講座や出前授業は、小・中・高校、公民館、病院、医療福祉施設等、様々なところからご依頼・ご好評いただき、延べ70カ所で開催しました。

平成25年度も公開講座・出前授業講師派遣をはじめとして多くの事業を実施する予定です。なお、事業案内のパンフレットを4月に作成し、ホームページにも情報を掲載しますので、ご活用ください。



健康ひろば



11月17日、18日にイオン津南ショッピングセンターサンバレーホールで「三重県立看護大学 健康ひろば ～家族みんなで健康チェックしてみよう～」を開催しました。

来場者の方々には、「骨密度」「血管年齢 & ストレスチェック」「血圧」の測定を行い、2日間で400名以上の方にお越しいただきました。

また、本学3年生が基礎演習の授業で作成したA4サイズの「健康カルタ」2種（高齢者版、幼児版）を掲示したスペースは、健康の維持・増進や基本的な生活習慣への関心を高めてもらう場となりました。

この「健康カルタ」は、高齢者施設、幼児施設をはじめ広く地域の方々に無料でご利用いただくことができます。

詳しくは本学地域交流センターへご連絡ください。

連絡先：三重県立看護大学 地域交流センター

TEL/FAX：059-233-5610 e-mail:rc@mcn.ac.jp



三看大健康バドミントン教室

三看大健康バドミントン教室は、平成21年度から始まった地域交流センターの地域貢献事業で、平成24年度は津市在住の男女25名（31～72歳）の方々が、技術の練習やゲームに汗を流されました。教室で行った運動の効果についても参加者の方々に知っていただけるよう、教室の前後には、体脂肪率・骨密度の測定や体力テストなどを行いました。



楽しい健康づくりって素晴らしいね♪



つながろう!! 未来に続く男性看護職者

男性看護職者の現状とこれからを考えるために、11月17日に講演 & シンポジウム「魅せましょう!! 男のちから、男の看護～男性看護職者の過去・現在・そして未来へ～」を開催しました。



参加者は三重県、愛知県の看護職者、看護学生、看護職を目指す高校生と保護者の方を合わせ、100名を超えました。参加者の9割以上が男性であり、普段は少数派と称される男性看護職者ですが、この時ばかりは会場は男性色に染まっていました。参加者の方からは、内容に高い評価をいただくとともに、継続した活動を期待する声も多く、有意義な会となりました。



おいでよ、キッズサロンへ

本事業では津地域にお住まいの幼児とその保護者に、ネイティブの教員が英語に親しむための授業を行っています。

授業はゲームや歌などを通して、アルファベットや挨拶、食べ物、動物などの簡単な単語を覚えられるようにしています。英語に初めてふれるお子様も、回が進むにつれて大きな声で英語を話すようになっています。保護者からは「家でも英語をいうようになった」「楽しく通っていたし、子ども自ら進んで宿題をしていた」などの声があります。

5月初旬に参加者の募集をしますので、ふるってご応募ください。



アイリッシュクリスマス in MCN

11月18日、アイルランド伝統のクリスマスプディングを作り、ひと月熟成させた12月16日に試食しました。試食会の日、伝統的なクリスマスについての話を聞き、おなじみのクリスマスケーキとはちょっと違った濃厚な香りのクリスマスプディングに舌鼓を打ちました。小学生から主婦の方々までご参加いただき、異文化に触れるひと時を過ごしました。参加者からは、「とてもおいしかった。」「日本とは異なるクリスマスのことが知れてよかった。」という声をいただきました。



クリスマスプディングとは?
アイルランドでクリスマスに食べる伝統的なプディング。

ドライフルーツやナッツが入った蒸しケーキで、キネスピールがたっぷりしみこんでいて、クリスマスに欠かせないデザートとして定着しているよ。



みかんだいにはアイルランド出身の先生がいるよ!

国際交流

本学学生のカリフォルニア大学ロスアンゼルス校 (UCLA) での研修

本学は、開学以来、国際的視野を持って活動できる能力の育成を教育目標に掲げ、国際交流を積極的に推進しています。



平成22年からは、タイ国マヒドン大学との相互交流に加え、新たに、米国カリフォルニア大学ロスアンゼルス校 (UCLA) での本学学生の研修を開始し、本年度は、平成24年8月18日から8月27日の10日間、UCLAで6名の3年次学生が研修に参加しました。現地における各専門領域に関する講義及び各種施設の見学は、学生がアメリカの医療の実際と問題点を感じるよい機会になりました。



マヒドン大学生の本学における短期研修

平成13年に締結されたタイ国マヒドン大学との間の交流協定に基づき、毎年マヒドン大学生及び本学学生を相互の大学で受け入れ、実習を実施しています。

本年度も、平成24年9月23日から10月6日の14日間、マヒドン



大学から3名の学生が来学し、校内での講義や学外の諸施設見学により、日本の看護を学び、体験するとともに、本学での交流会、京都や伊勢への文化視察を通じて本学学生及び教職員との交流を深めました。

また、本学の学生や教職員にとっても異文化を感じるよい機会になりました。



平成24年度卒業研究発表会



12月27日に平成24年度卒業研究発表会が開催されました。大講義室での村本学長による開会の挨拶の後、学生が4会場に分かれて1年間取り組んだ研究について発表を行いました。いずれの発表も1年間の努力が感じられる力作ばかりで、4年生と共に来年履修する3年生も多数参席する中で、各会場では活発な討論がなされ、大学4年間の学びの結実が感じられる発表会となりました。

平成24年度修士論文発表会

1月16日に大学院生2名が入学当初から進めてきた看護研究の成果を発表しました。テーマは「入院中の患児ときょうだいとの面会が患児・きょうだい・母親にもたらす効果-付添い中の母親の認識を通して-」と「月経周期と深夜勤務が看護職者の心身におよぼす影響」であり、当事者へのインタビューや、心理尺度を用いて測定した結果を時期により比較検討した内容をまとめました。この発表会をふまえ、翌日より修士論文審査が行われました。



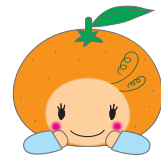
学生支援事業

「みかんちゃんカード」について



昨年9月から、学生として必要な自己啓発能力の向上や研究的態度の習得等に繋がる行事及びボランティア活動への積極的な参加の奨励を目的として、「みかんちゃんカード」を発行しています。対象となる行事や活動等に参加した学生には「みかんちゃんシール」を渡し、シールが10枚たまと大学生協商品券と交換できるという制度です。

この制度をとoshi、より多くの学生が積極的にボランティア活動や行事へ参加してもらえることを願っています。



保健室便り

オリンピックやパラリンピックでの三重県出身選手の活躍が印象的だった年でしたが、保健室を振り返ってみると、災害や感染症の流行など大きな問題は特になく穏やかに過ぎた1年だったように思います。

保健室では、健康に関するだけでなく「なんでも相談」をいつでも受け付けています。誰に聞けば良いかわからないこと、ただ話を聞いてほしい時、在室時間中であればできる限り対応させていただきます。また、大学ではそれ以外にも、「学校医の相談」、「こころの相談」、「女性のからだの相談」など、各種の相談窓口があります。保健室からそれぞれに案内することもできますので、困った時には声をかけてください。

学生はもちろん、教員も職員も、一人ひとりが健康で充実した大学での時間を過ごせるように、これからも保健室からいろんな情報を発信していきたいと思っています。



生協からのお知らせ

2013年は学内福利厚生を生協が担って10周年になります。

今後とも、たくさんの助言・意見をいただいて学内の「楽しい憩いの場」になるべく頑張ります。

- 大学と協定書を交わし「災害時対応自販機」を11月28日に設置しました。災害時には自販機内飲料を無料で提供いたします。
- カップ式自販機を設置し、店舗閉店時でも入れたてコーヒーが飲めるようになりました。

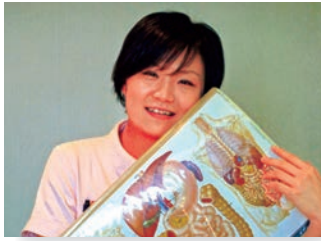


週2回三重大生協の「焼きたてパン」や、特価の飲料・お菓子の販売を始めたよ！
購買書籍店で看護専門書の新刊の陳列・販売も始めて、さらに便利になったよ！



酒井 美紀子

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター



平成19年度卒業
現在看護師5年目
5東病棟（消化器外科）

私がこの病院を選んだのは、実習の時にテキパキ働くスタッフを見て「私もあんな風になりたい!」と思ったからです。

消化器外科ではがんの手術をされる患者さんが多く入院されています。私は今スキンケア委員をしていますが、以前はストーマや褥瘡ケアへの苦手意識がありました。しかし、認定看護師の助言をリアルタイムに得ることで学びが深まり、今はそれを自分の強みにしたいと思います。当院には8分野9名の認定看護師がおり、頼りになる先輩が身近にいる安心感が魅力です。

また、新人教育が熱心になされており、院内研修も充実しています。段階的な知識・技術の習得、部署見学等による視野の拡大等、着実に成長を感じながら前に進むことができます。

私は、多くの不安を抱えた患者さんの心の支えになれ、少しでも安心した入院生活を送って頂けるようにと、信頼できる看護師を目指し日々努力をしています。患者さんの安心された表情が私達の原動力となりもっともっと頑張ろうと思います。

看護部からの一言

当院は、北勢地区に位置する救急医療・高度特殊医療を担う446床の病院です。看護部では、『豊かな人間性と社会性、科学的根拠に基づいた知識と技術を用いて、安全で質の高い看護実践』を理念に掲げ、理念を具現化できる人材育成とそれを支える職場環境の整備に取り組んでおります。

酒井看護師は、平成20年に就職し救命救急センター勤務を経て、現在外科病棟で勤務しています。高いフィジカルアセスメント能力を発揮しながら、患者さんを全体的にとらえることができる存在として、現在では臨床指導者の役を担い、病棟内でもリーダーシップを発揮しております。

当院は、平成25年3月より内視鏡センターを開設、4月より周産期センター拡充を控えています。院内においてもこれまで以上に看護師の役割、期待も増しており、酒井看護師はじめ卒業生の活躍に期待しています。

市川 陽

国立大学法人 三重大学医学部附属病院



平成22年度卒業
現在看護師2年目
消化管外科・内科病棟

私が働いている三重大学病院は、最先端の医療がなされている特定機能病院です。病棟では、医師・薬剤師はじめ多くの方々が患者さんの医療に関わり、病棟内でカンファレンスがもたれます。患者さんのために医療がなされていると実感しています。

教育面では、看護部内の研修以外にもたくさんの勉強の機会があります。まず、臨床研修キャリア支援センターが院内にあり、他の職種の方々と一緒に入職時のオリエンテーションを受けました。半年後は、他職種合同シミュレーションが開催され、研修医や新人の薬剤師らと共にチームを作り、急変した患者さんにどのように対応するかを競ったりして学習をしています。また、毎日大学内のどこかで、専門性の高いセミナーが開催されており、いつでも参加できるようになっています。

働く環境としては、完全電子カルテなのでいつでもどこでもカルテを見ることができ便利です。各病棟には看護助手さんやクラークさんがいるので看護師の仕事に専念できる環境となっています。また、子供が小3まで取得できる育児短時間制度や24時間保育が導入されており、結婚後も安心して働ける状況です。

2年目になり少しずつ仕事に慣れ、任される仕事も増えてきました。後輩が出来たことでしっかりしなくてはと思い、責任感も生まれました。臨床は辛いこともありますがそれ以上に楽しいこともあります。患者さんの気持ちを一番考えた看護ができるようこれからも頑張ります。

平成26年度に外来棟が完成します。臨床研修キャリア支援センターもさらに充実すると聞いているので大変楽しみにしています。



病棟の窓から見える景色に癒されています

辻 千晶

社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院



平成22年度卒業
現在看護師2年目
整形・泌尿器科所属

済生会松阪総合病院の整形外科・泌尿器科で働いています！

こんにちは、いつもバタバタと走っている2年目ナースです。私は、総合実習と卒業研究でこの病棟でお世話になり「ここで働きたい！！」と思いました。1年目と比べると、仕事の内容や段取りも分かってきて、少しは仕事に慣れてきたかなと思います。夜勤での患者さん回りがうまくいかず、先輩からの指摘が辛くて「辞めたいなー」と思うこともありますが、そのたびに同期の子や頼れる先輩たち、そして患者さんからもらう笑顔や言葉にいつも救われています。他の子たちと自分を比べてへこむ時期もありましたが、周りの方のたくさんの支えによって、今自分のできることを精一杯やろうと前向きに頑張ることができています。

今後に向けて

今私は、後輩に指導していく中で教える難しさを感じたり、逆に後輩からも多くの事を学んだりしています。4月からは3年目になるので、患者さんやスタッフに頼られる看護師になれるよう、日々精進していきたいです！！最近は少し余裕も出てきて、プライベートも充実してとても楽しいです！

看護部からの一言

当院は昭和12年に18床診療所として設立されました。現在、病床数は430床となり、地域の急性期医療を担っています。平成24年4月には緩和ケア病棟を開設しました。20床の病床は開設以来ほぼ満床の状態地域の方々のニーズに寄り添っております。また、看護部は「癒しの看護」を理念とし、看護を実践しています。院内教育においては、「癒しの看護」が実践できる看護師を育成するために、1年目よりプログラムが組まれています。患者さんに癒しを提供するためには、自分自身も癒されることも必要であり、そういった視点で院内看護教育が行われております。



松村 孝紀

日本赤十字社 伊勢赤十字病院



平成23年度卒業
現在看護師1年目
3B（小児病棟）

患者にはもちろん職員にも優しい病院…

100有余年の歴史ある病院ですが、平成24年1月に新築移転して新たな歴史がはじまりました。職員みんなが新しいシステムを取り入れながら歩き始めていて、やる気があり活気にあふれています。

「断らない！」を合い言葉に県中南地域の救急を担っていて大変なこともありますが、院長の「職員にも優しい病院」のコンセプトのもと職員用のオープンカンファレンスやフィットネスなどのハード面の充実はもちろん、研修や子育て支援、アフターファイブも充実しています。長く働ける病院です。

自分の可能性を広げよう！

当院には救命救急から緩和ケアや訪問看護など、看護の専門性が発揮できる分野があり自分のキャリアを考えながら経験できます。将来的には経験を積み視野を広くして管理職にも興味があります。

男性看護師の会や三看大の先輩との飲み会などがあり情報交換やリフレッシュの場となっています。また、院内のクラブ活動も活発で野球部に所属しています。薬剤部や放射線科など他の部門の人と知り合いになり、とても心強いです。昨年、秋に京都で開催された全国赤十字病院のスポーツ大会に出場した(宴会も…)のは楽しい思い出です。 “男子会”や“クラブ活動”オフも充実！



オープンカンファレンス

お知らせ

附属図書館からのお知らせ



- ・平成25年1月をもって、全ての返却ポストのご利用ができなくなりました。今後は図書館の開館時間中に直接カウンターまでご返却ください。
- ・平成25年2月から、学外利用者の登録方法を変更しました。対象は既に登録されている方も含め全員です。登録に必要な提示書類等の変更がございますので、附属図書館の掲示やホームページをご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

「オープン・クラス」始めます

三重県立看護大学では、社会貢献活動の一環として、平成25年度より、本学の学生向けに開設された授業科目の一部を県民の方に開放する「オープン・クラス」を実施します。オープン・クラスは、本学の正規授業を開放するもので、単位を付与するものではありませんが、受講のための資格条件や入学試験もありませんので、気軽に受講することができます。受講料は、1科目につき15回の授業で7,500円（授業回数が8回以下の科目は、4,000円）です。

ランキング

「国家試験合格人数」

看護師	第26位
保健師	第21位
助産師	第20位



「志願者倍率（一般入試）」

公立大学 第3位

「オープンキャンパスの参加倍率(定員を基準)」

公立大学 第14位

「合格者のうち入学者の比率」

公立大学 第13位

出典：朝日新聞出版 2013大学ランキング

「大学の地域貢献度ランキング」

総合ランキング 第101位(前年104位)

出典：日経グローバル NO.208 2012.11.19

学生キャンパススナップ ～学内の日常を紹介します～



学生みなさんに、
おすすめの講義をききました♪



1年生

とよちゃん

たまちゃん

けんじい

ねえさん

ゆーな

あいほむ

成人看護方法 I
「実践につながりそうだから」



4年生

さおちゃん

よつちゃん

看護総合特論
「国家試験対策として、
もう一度復習ができるから」

看護人間工学
「齋藤先生のユニークな話に
聞き入ってしまう」



2年生

ゆうやん

おつー

やす

すっぴー

ひとみん

あさみん

はーちゃん

クラブ・サークル活動紹介

献血推進サークル「さくらんぼ」

- ① 活動日：月に1回程度
- ② 活動場所：鈴鹿のイオンモールや松阪のマームなど
- ③ メンバー数：11人
- ④ 代表：長谷川 有紗 顧問：林 辰弥
- ⑤ 私たちは血液が不足していることや献血の必要性を伝え、献血をしていただけるように広報をしています。月に一度の“月例献血”や、夏やクリスマスなどの血液が不足しがちな時期に学生主体の全国規模の統一キャンペーンを実施し、とくに若年層への協力を呼びかけています。三重大学の“献血推進サークル「ヴァンパイア」”さんと合同で行っており、中部地区や全国での会議に参加することもあり、幅広い人と知り合うことができます。



三重県学生献血推進連盟「みえっち」設立！

現在、全国的に献血者率が減少している中で、三重県の若年層の献血者率は全国最下位です。若年層の献血者を増やすためには、同世代である学生の呼びかけが必要という思いから、三重県立看護大学献血推進サークル「さくらんぼ」が中心となって立ち上がったのが三重県学生献血推進連盟「みえっち」です。

この「みえっち」は、平成22年9月に本学にて「みえの現場・すごいやんかトーク大学編」として鈴木英敬三重県知事と本学学生が意見交換を行った際に三重県には、学生による献血推進運動の核となる団体がないという状況を学生から直接知事に伝えたことがきっかけで設立されました。

「みえっち」は三重県各地で行われる献血のお手伝いや呼びかけを行うとともに、メンバーの募集活動も行っています。

私たちの詳しい活動情報はこちらから♪



ひだまりサークル



- ① 活動日：毎週木曜日
- ② 活動場所：学生ホール等
- ③ メンバー数：35人
- ④ 代表：鎌田 奈々子 顧問：林 辰弥
- ⑤ ひだまりサークルの活動内容は、主に生協の行事のお手伝いです。また七夕には生協の方々にも協力していただき、ゆびた祭りを開催しています。ゆびた祭りは、近所のちびっこ達もたくさん来てくれて、一緒に遊んだり食べ物を販売したりする楽しいイベントです。他にもみんなで旅行に行ったり、ハロウィン、クリスマスパーティーをしたりと、とても楽しいサークルです。



クラブ・サークル活動紹介

- ① 活動日
- ② 活動場所
- ③ メンバー数
- ④ 代表者、顧問の氏名
- ⑤ 紹介



ゆめたまご

- ① 月1～2回程度
- ② センターパレス、母子家庭施設、デイサービスなど
- ③ 23人
- ④ 代表：中沢 桃子 顧問：奥山 みき子
- ⑤ 私たちゆめたまごは、障がい者の方や母子家庭施設に住む子どもたち、高齢者の方々を対象に活動しています。話し相手になったり一緒に日帰り旅行に行ったりといった簡単なボランティアを行っています。誰にでもできることでも、やる気をもって自分から動き出さなければできないのがボランティアです。私たちと一緒に人のためになることをしてみませんか？



バレーボール部

- ① 毎週火曜日、木曜日、土曜日の3日間
- ② 体育館
- ③ 7人
- ④ 代表：奥瀬 美由 顧問：北澤 強志
- ⑤ 少ない人数ながらも、明るくバレーを楽しんでいます。試合にも参加しており、楽しみながらも真剣にバレーボールに取り組んでいます。また、バレーボールを通して、他の学年の仲間もでき、より充実した学生生活を送ることができています。



テニスサークル fun*fun

- ① 毎週水曜日、土曜日
- ② テニスコート（たまに体育館）
- ③ 30人程度
- ④ 代表：山本 翔太 顧問：大西 範和
- ⑤ このサークルではテニスの大会に出場することもできますが、大半は初心者です。春・秋には遠足、夏には合宿をしたりとテニス以外の活動もしています。また三重大との交流もあり、交友関係の幅が広いこともこのサークルの魅力です。



Green Tea サークル

- ① 毎週月曜日・木曜日
- ② 実習室1の畳スペース
- ③ 20人程度
- ④ 代表：山下 真歩 顧問：二村 良子
- ⑤ ふすまの正しい開け方を知っていますか？お箸のきれいな取り方はどうでしょう？お茶を習うことは礼儀作法を学ぶことでもあります。Green Tea サークルでは学外から先生をお招きしてお茶を習っています。初心者でも大丈夫。先生もやさしく、毎回楽しく活動しています。気になったら一度お茶を飲みに来てください！



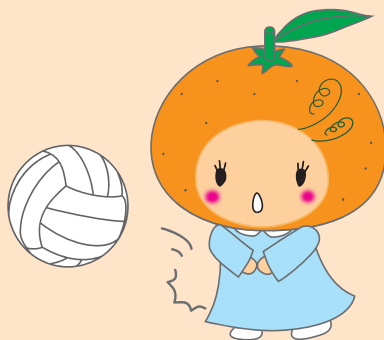
国際交流サークル

- ① 4月（留学生研修期間）、その他不定期
- ② 主に学生ホール
- ③ 44人
- ④ 代表：吉田 里奈 顧問：橋本 秀実
- ⑤ 国際交流サークルは主にタイの看護学生の研修期間に活動します。活動内容は、タイの学生の歓迎会、ホームパーティー、研修旅行などです。簡単な英語で会話するので、英語が苦手な人でも気軽に参加できます。また、外国人学校へ健康診断の手伝いへ行くこともあるので様々な国の人々と交流できます。国際交流に興味がある人はぜひ国際交流サークルへ!!



バドミントンサークル「ミントん」

- ① 毎週火曜日
- ② 体育館
- ③ 20人程度
- ④ 代表：森 有希 顧問：オブライエン・マイルズ
- ⑤ 私たち「ミントん」は週1回体育館にてバドミントンをしています。ひたすら打ち合う日もあればトーナメントをやる日もあり、皆の気分によって楽しみ方を変えています。初心者が多く、身体づくりの一環として楽しんでいます。経験者は先生からの指導をうけたり学外の大会に参加したりと、練習の場として参加しているメンバーもいます♪皆仲良しです(^_^)ぜひ来てください♪



200up

- ① 月に1～2回程度
- ② 津グラウンドボウル、ラウンドワンなど
- ③ 15～20人ほど
- ④ 代表：早川 翔 顧問：杉野 健士郎
- ⑤ このサークルは、ボーリングを通して、学年の隔たりなく、みんなで楽しもうという目的で行っています。ボーリングだけでなく、新歓、追いコンなども行い、みんなで仲良く活動しています。また、大学のOBや先生も参加して、交友関係を広げる場になります。



ニコニココミュニケーションサークル

- ① 2週間に1回
- ② おもに家庭科援助室や体育館など活動に合わせて校外でも活動します。
- ③ 30～40人程度
- ④ 代表：榊原 泰典 顧問：小菅 育恵
- ⑤ 私たちは名前の通りみんながニコニコできるような活動をしています。新入生の入学時にはから揚げパーティーを開きみんなで祝います。また、季節ごとに春ならお花見、新入生歓迎会、夏は蛍を見たり、キャンプをしたり、秋は紅葉、冬は体を動かしてからみんなで鍋をしたりなどをして、みんなが楽しんでいるビデオを撮り、年の最後にそれをみて一年を振り返っていきます。



陸上サークル「びよびよ」

- ① 不定期
- ② グラウンド
- ③ 10人ほど
- ④ 代表：松井 志帆 顧問：西澤 あゆみ
- ⑤ 私たち陸上サークルは、特に決まった日に集まるというわけではなく、体を動かしたい気分の時に、個人個人が声をかけ集まって活動しています。思い切り走りたいという人もいれば、楽しく喋りながらジョグやウォーキングをする人もいます。なかなか忙しくて運動不足になりがちですが、授業の空き時間や、放課後を利用して気軽に体を動かしています。適度な運動が程よい気分転換になっています。

ハッピースポーツサークル

- ① 毎週月曜日
- ② 体育館
- ③ 20人程度
- ④ 代表：豊島 亮 顧問：脇坂 浩
- ⑤ ハッピースポーツサークルは毎週決まった種目をやるのではなく、その場に集まったメンバーで「今日はバスケにしようか、バレーにしようか」などとみんなの意見を聞いて今日する種目を決めて活動していて、ゆるく、楽しくをモットーにみんなでわいわい騒ぎながら楽しくスポーツをしています。



ソフトテニスサークル

- ① 毎週木曜日
- ② テニスコート
- ③ 8人
- ④ 代表：原 美咲 顧問：浦野 茂
- ⑤ こんにちは！ソフトテニスサークルです。私たちのサークルは、木曜日テニスコートにて主に試合を中心に活動を行っています。メンバーは明るく元気な人がたくさんいて、楽しく盛り上がっています。初心者でも、経験者でも大歓迎ですので是非興味があったら木曜日にテニスコートへ遊びに来てください♪

グリンピース

- ① 2ヶ月に1回程度
- ② 生活援助室
- ③ 14人
- ④ 代表：加藤 清香 顧問：井上 直子
- ⑤ こんにちは。料理サークル、グリンピースです。私たちは14人でメンバーを構成し、楽しく活動しています。昨年はハロウィンの日にきのこの炊き込みご飯・かぼちゃプリンなどを作ったりと、季節に合わせたメニューやメンバーの好きな料理を提案し、活動を行ってきました。今年も様々なイベントや行事に合った料理を考え、楽しみながら活動をしていきたいと考えています。



Campus CUBE チームみかんた

- ① 隔週水曜日
- ② FM 三重
- ③ 8人
- ④ 代表：坪井 博 顧問：齋藤 真
- ⑤ 大学生がお送りする自由なラジオ番組“Campus CUBE”にあなたも出てみよう！三重県内の他大学生も参加するので交遊関係が広がること間違いなし。ゲストとして現三重県知事鈴木英敬氏が出演したこともあるんです！人見知りを克服したい、おしゃべりが大好き、なんか面白そうじゃん？どんな理由でも大歓迎！まずは見学だ！

OBもよく遊びに来てくれます♪

